



2021年10月29日

各位

会社名 株式会社ジェイテック  
代表者名 代表取締役社長 藤本 彰  
(JASDAQ コード 2479)  
問合せ先 取締役 経営企画室長 村田 竜三  
(TEL 03-6228-6463)

## 中期経営計画における計画値の見直しについて

当社は、本日開催の取締役会において、2021年5月25日に公表いたしました中期経営計画につきまして、本日公表の「第2四半期累計期間業績予想（連結）と実績値の差異及び通期業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」において2022年3月期の通期連結業績予想の見直しを実施しましたので、中期経営計画の2022年3月期の予想値も修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の計画値の見直しについて

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2022年3月 (当初予測)	3,435	10	28	6
2022年3月 (目標) ※修正	2,977	▲169	46	19
2023年3月 (目標) ※据置	3,900	170	161	95
2024年3月 (目標) ※据置	4,380	188	169	99

#### 2. 見直しの理由

当社グループでは、2021年5月25日に公表しました中期経営計画において、ONE TEAM（いまこそ一つに）を基本指針に、各種施策に取り組んでまいりました。計画初年度の2022年3月期は、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業において、新卒テクノロジストを教育し早期派遣をしていく前提としておりました。

しかしながら、感染症対策に係る緊急事態宣言の影響が色濃く、想定以上に営業活動が制限された影響で、特に新卒テクノロジストの稼働開始が2021年9月末までに全員稼働開始となることを当初の計画としておりましたが、その計画が2021年12月末まで後ろ倒しとなる見通しとなることに加え、請負及び受託等の期中に収益を期待していた案件も開始時期が後ろ倒しとなるため、第3四半期及び第4四半期の売上高も減少する見込みとなり、2022年3月期通の売上高は目標を下回る予想としております。販売費及び一般管理費に関しては、テクノロジストの技術力向上に向けた研修カリキュラムや設備の改善をはじめとする教育環境の強化に注力している中、雇用調整助成金の特例措置が延長されることを受けて、稼働開始が遅れているテクノロジストに対し新たな資格取得の支援など、今後の稼働開始や需要拡大に備えた技術力及び人間力のさらなる養成を進めております。そのため、販

売費及び一般管理費は売上高の減少の中でも削減せず、当初の予定とほぼ同水準で進捗する計画としました。

以上の結果、2022年3月期の業績予想は、売上高及び営業損益は当初の予想を下回り、営業外収益として雇用調整助成金収入が見込まれるため、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益は当初の予想を上回る見通しとしております。

2022年3月期にてテクノロジストの教育・研修を重点的に行い、2022年3月末時点で当初予定している以降2ヵ年の計画達成における稼働人員などの必要条件が揃う予測としており、2023年3月期以降につきましては当初目標値を据え置きとすることといたしました。

なお、同計画によるその他戦略については変更ございません。

以上